

平成20年度「小中高 夢のかけ橋推進事業」実施報告書

東京都立江北高等学校
全日制課程

1 計画の概要

近隣の保育所、小・中学校、特別支援学校と連携を図り、事業の推進を図る。連携内容は授業や課外活動などを中心に、本校からの要望によるものと相手校の要望を取り入れるものとし、相互の児童・生徒にとって有益なものを実施する。また、一部の事業を奉仕体験活動、ボランティア月間のトライ&チャレンジの活動とも連動して行う。

- 1 家庭科の授業の一環として保育所で保育実習を体験する。
- 2 和太鼓部が小学校などを訪問して演奏を行う。
- 3 バasketボール部、サッカー部が中学校の生徒と一緒に活動を行う。
- 4 中学校で本校教員が訪問授業を行う。
- 5 生徒会、卓球部、野球部が特別支援学校の生徒と一緒に活動を行う。
- 6 夏季休業中に小・中学校で学習ボランティア活動、小学校でプール指導補助活動を行う。

2 実施内容

- ・足立区立弘道・西綾瀬・青井各保育所での保育実習体験（6月、1月～2月）
- ・足立区立弘道第一小学校で和太鼓部が演奏（7月5日）
- ・都立足立特別支援学校で和太鼓部が演奏（7月27日）
- ・Basketボール部が中学生と合同練習（11月24日）
- ・サッカー教室でサッカー部が中学生と活動（10月11、18、25日、11月1、8日）
- ・都立葛飾ろう学校で卓球部が合同練習（10月4日）
- ・都立葛飾ろう学校で野球部が合同練習（8月20日、9月27日、10月19日、11月1日）
- ・都立葛飾ろう学校と生徒会・ボランティア部との交流（9月14日、10月25日）
- ・足立区立花保中学校での訪問授業（8月27日）墨田区立錦糸中学校での訪問授業（9月13日）足立区立鹿浜中学校での訪問授業（9月19日）



3 成果と課題等

【成果】

- ・本校Basketボール部の良さを理解し、本校の受検生も出てきた。
- ・サッカー教室には年々参加者が増え、本校に興味・関心をもち始めた。
- ・ろう学校との合同練習では、最初は恥ずかしがっていた生徒が、積極的に教えるようになった。
- ・訪問授業の終了後、中学生が高校の授業に興味をもって質問に来た。
- ・保育実習では、年齢による子供の反応に違いがあることを見て理解できた。
- ・ろう学校との生徒会同士の交流では、相手の学校の様子がよく理解できた。



【課題】

事前のPR、実施時期、実施場所の確保が課題である。交流に十分な時間を確保できない。相手の日程との調整が難しい。1回だけでなく複数回実施することで成長の様子がよく理解できるのではないかな。他の中学校へ出前授業を行いたいが、こちらからは申し出をしにくい。活動の安全の確保も課題になっている。